

### (3) 各消防（局）本部別の性別及び年齢別C P A検証対象数

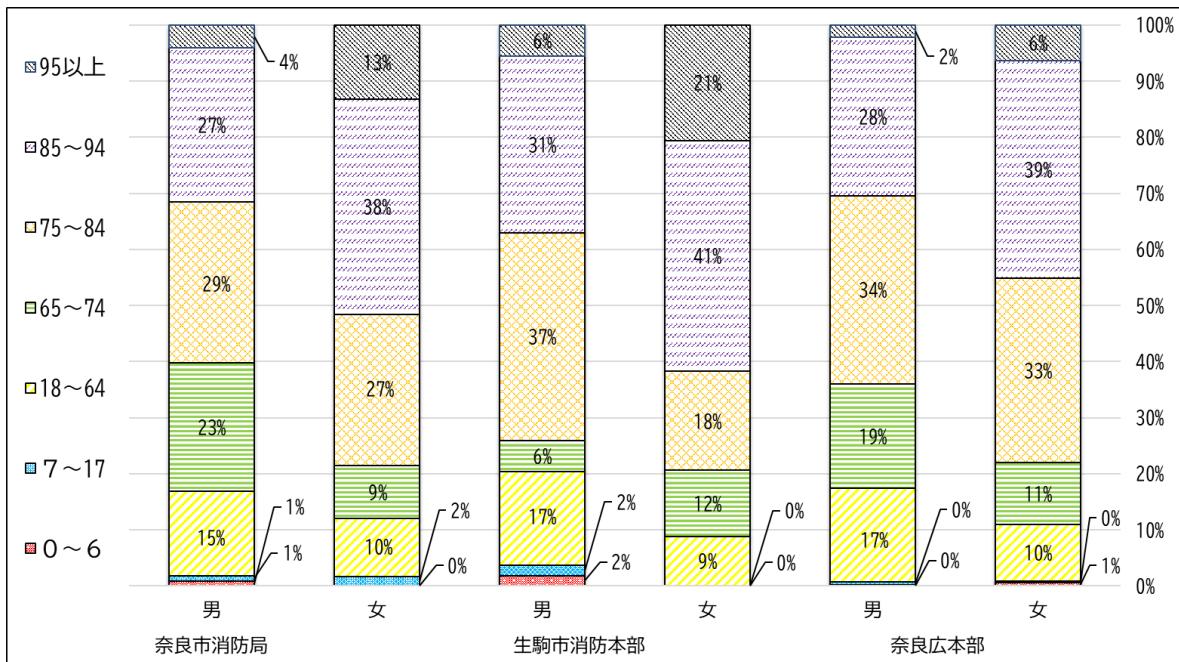
令和5年中の各消防（局）本部別の性別及び年齢別の内訳を下記に示す（表3、図3参照）。

表3 性別及び年齢別のC P A検証対象数

（単位：件）

	性別	0～6	7～17	18～64	65～74	75～84	85～94	95以上	合計
奈良市消防局	男	2	2	33	50	63	60	9	219
	女	0	3	19	17	49	70	24	182
生駒市消防本部	男	1	1	9	3	20	17	3	54
	女	0	0	3	4	6	14	7	34
奈良広本部	男	1	3	101	112	202	170	13	602
	女	3	1	50	54	162	191	31	492
合計		7	10	215	240	502	522	87	1583

図3 性別及び年齢別のC P A検証対象割合



※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0%になる場合と割合の合計が 100%にならない場合がある。

(4) 各消防（局）本部別のC P A時間経過

令和5年中の各消防（局）本部別の時間経過について下記に示す（表4、図4、表5、図5、表6、図6参照）。

表4 C P A時間経過（入電から）

（中央値、単位：分）

	入電から現着	入電から接触	入電から収容	入電から現発	入電から病着
奈良市消防局	9	11	18	25	34
生駒市消防本部	8	9	20	24	34
奈良広本部	10	11	23	30	41

図4 C P A時間経過（入電から）

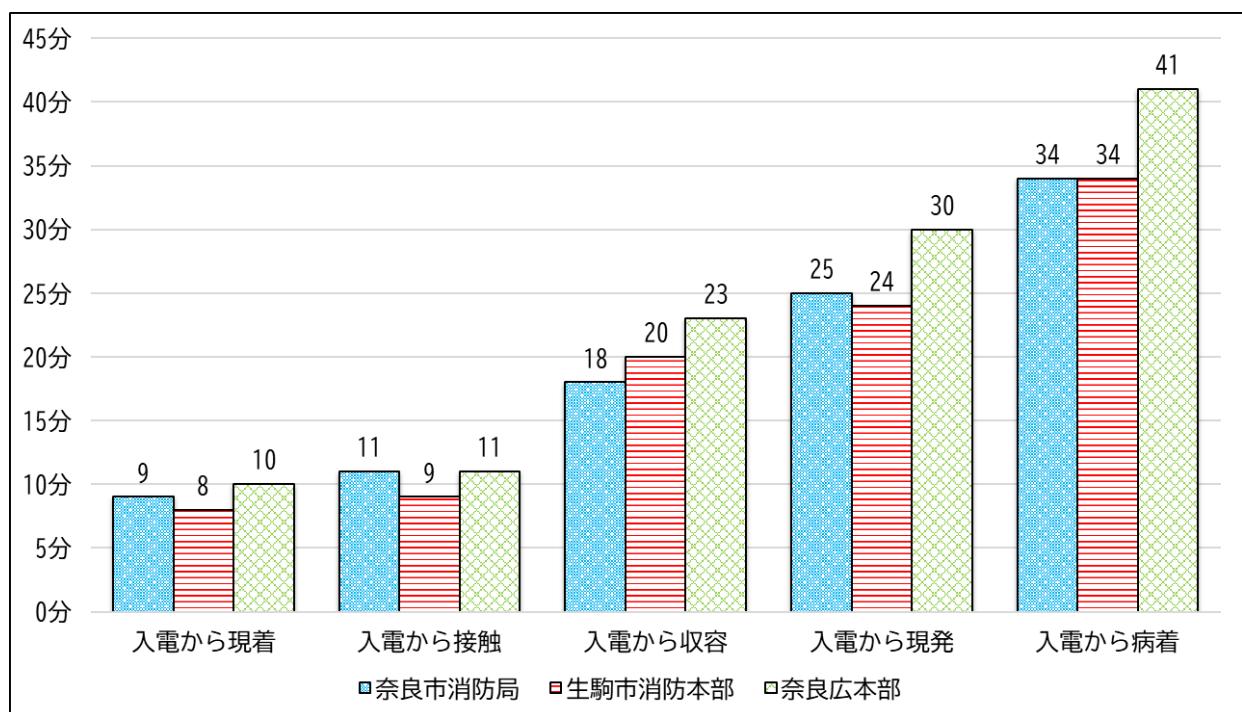


表5 CPA時間経過（接触から）

(中央値, 単位: 分)

	接触から収容	接触から手配開始	接触から手配完了	接触から現発	接触から病着
奈良市消防局	7	6	12	14	24
生駒市消防本部	10	6	10.5	14	25
奈良広本部	12	7	15	18	29

図5 CPA時間経過（接触から）

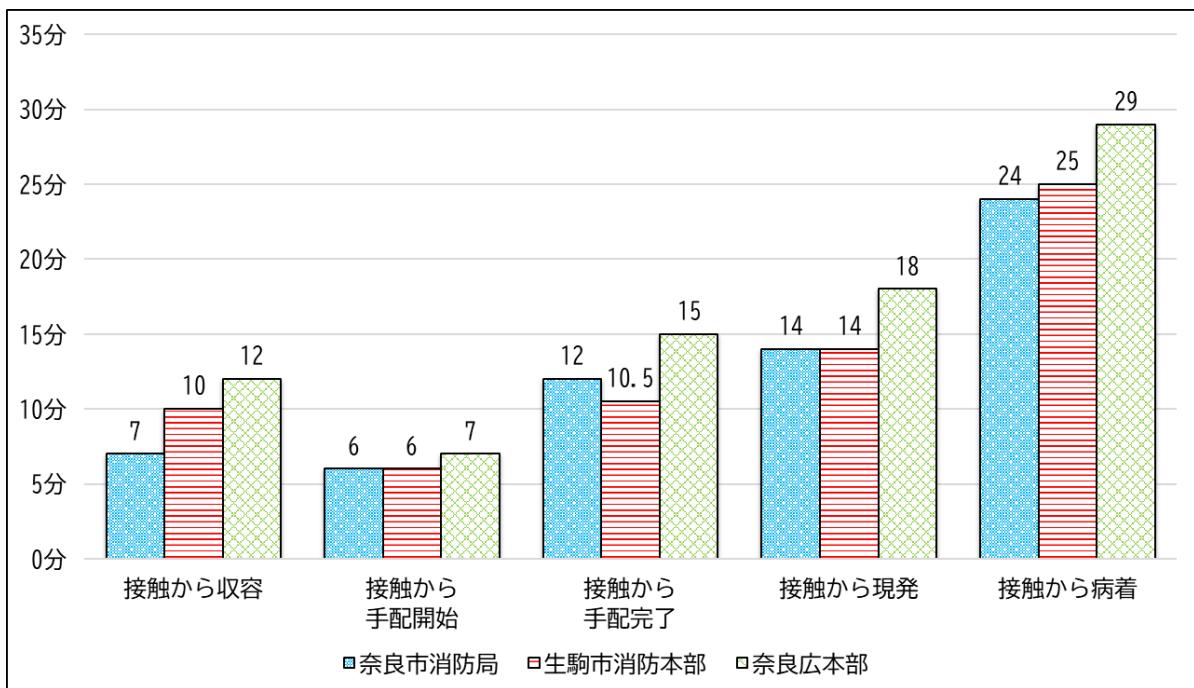
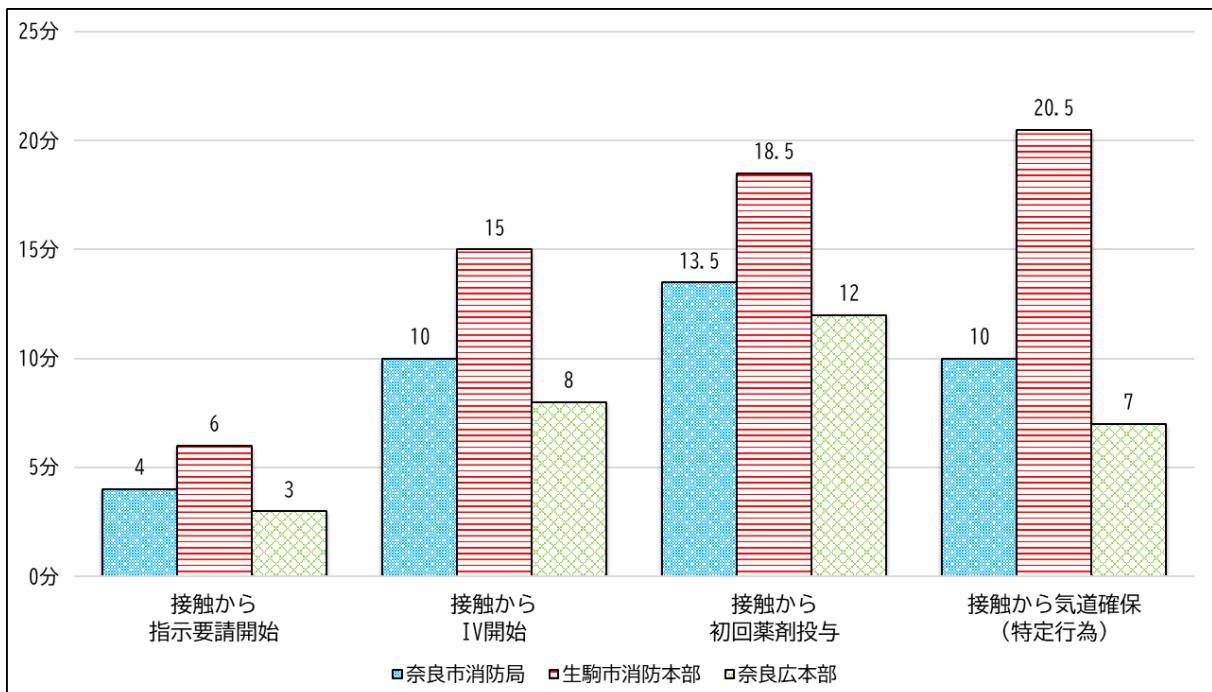


表6 CPA時間経過（特定行為）

(中央値, 単位 : 分)

	接触から 指示要請開始	接触から IV開始	接触から 初回薬剤投与	接触から気道確保 (特定行為)
奈良市消防局	4	10	13.5	10
生駒市消防本部	6	15	18.5	20.5
奈良広本部	3	8	12	7

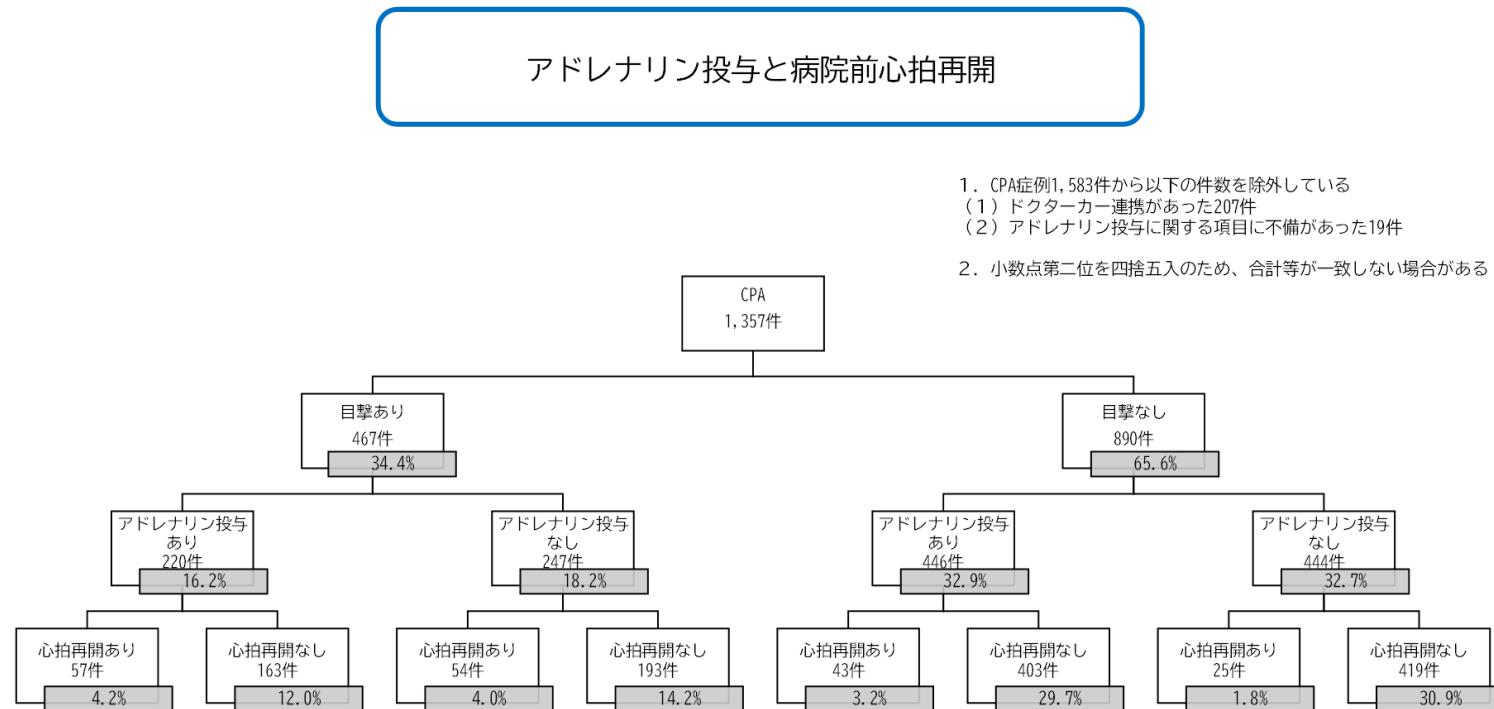
図6 CPA時間経過（特定行為）



## (5) 県全体のアドレナリン投与と病院前心拍再開

令和5年中の県全体のアドレナリン投与と病院前心拍再開は、ドクターカー連携なしを元に比較した（図7参照）。

図7



(6) 県全体の初期波形とアドレナリン投与と病院前心拍再開

令和5年中の県全体の初期波形とアドレナリン投与と病院前心拍再開は、ドクターカー連携なしを元に比較した(図8、図9参照)。

図8

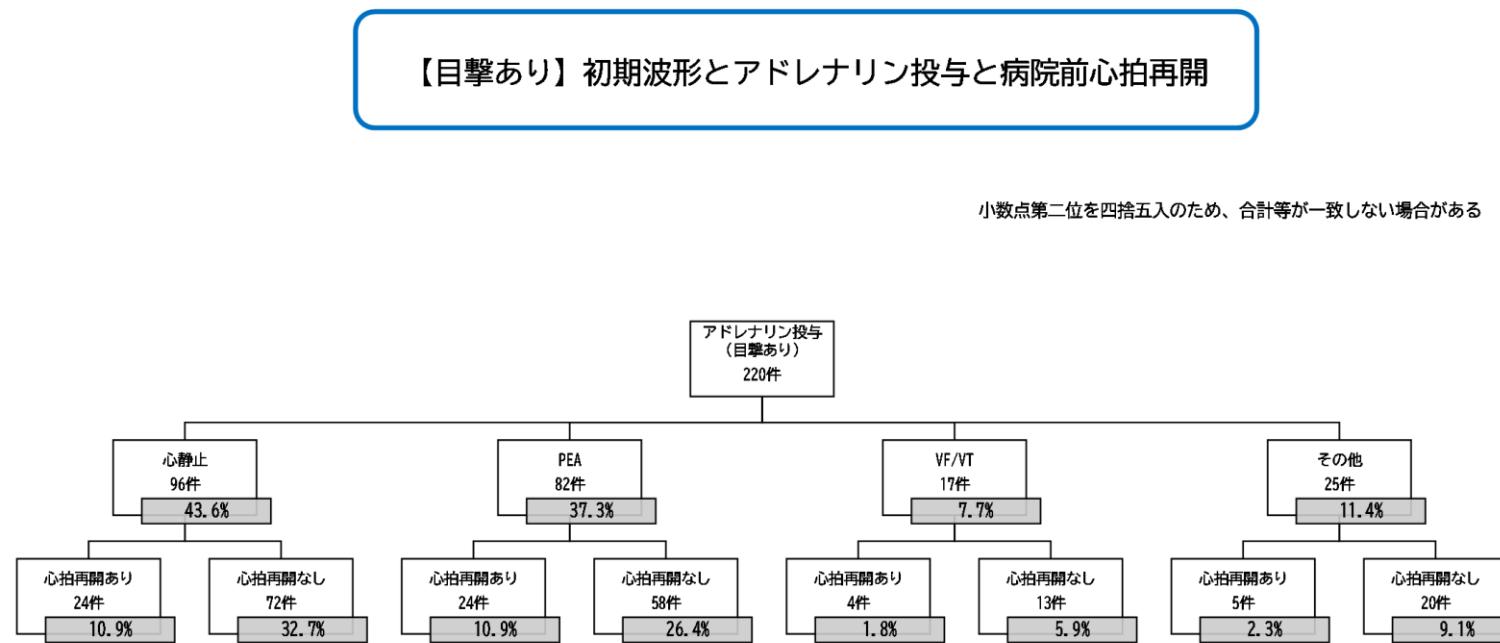
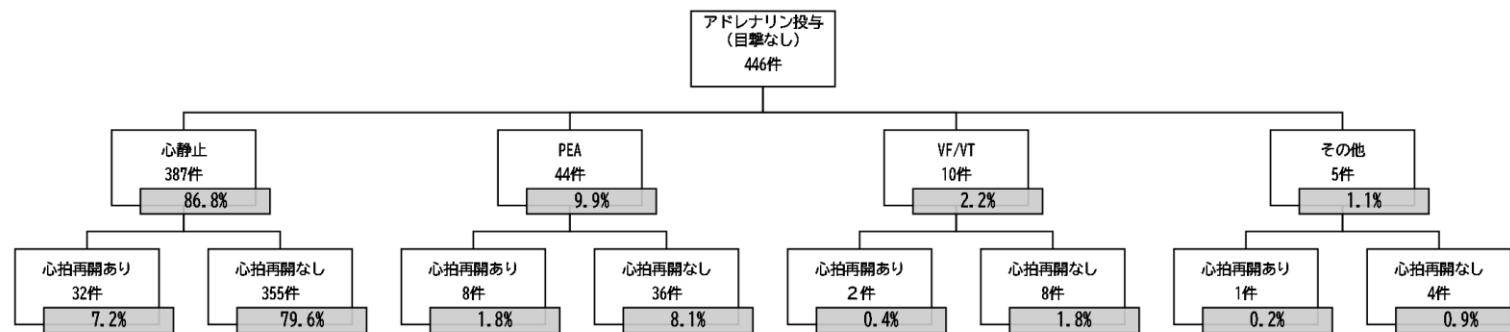


図9

【目撃なし】初期波形とアドレナリン投与と病院前心拍再開

小数点第二位を四捨五入のため、合計等が一致しない場合がある



## (7) 各消防（局）本部別の静脈路実施状況【初回静脈路穿刺部位別】

令和5年中の各消防（局）本部別の初回静脈路実施における穿刺部位別を下記に示す（表7、図10参照）。

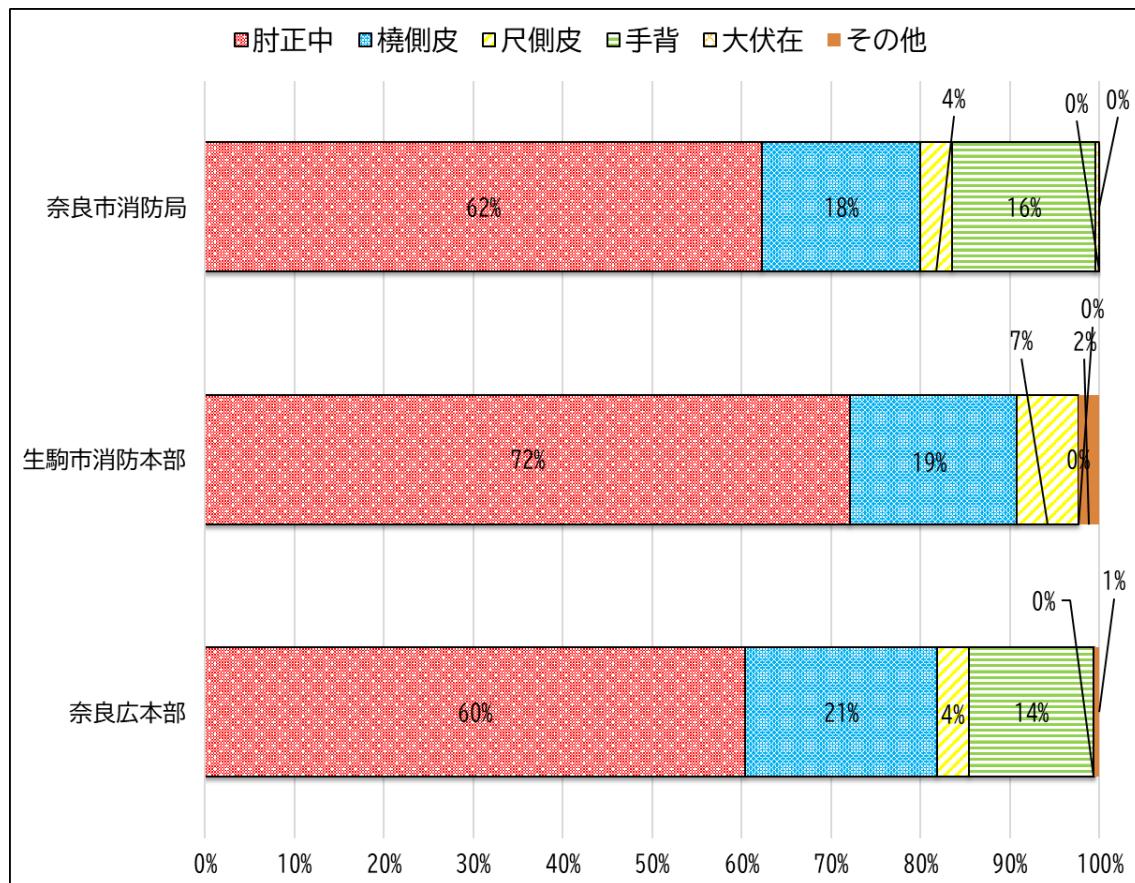
表7 静脈路実施状況【初回静脈路穿刺部位別】

（単位：件）

	肘正中	橈側皮	尺側皮	手背	大伏在	その他	合計
奈良市消防局	140	40	8	36	1	0	225
生駒市消防本部	31	8	3	0	0	1	43
奈良広本部	419	149	25	96	1	4	694
合計	590	197	36	132	2	5	962

※静脈路実施について、成功・不成功は問わず、初回に穿刺した部位別の件数を計上している。

図10 静脈路実施状況【初回静脈路穿刺部位別割合】



※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0%になる場合と割合の合計が 100%にならない場合がある。

(8) 各消防（局）本部別の静脈路実施状況【初回静脈路留置針ゲージ別】

令和5年中の各消防（局）本部別の初回静脈路実施確保における留置針ゲージ別を下記に示す（表8、図11参照）。

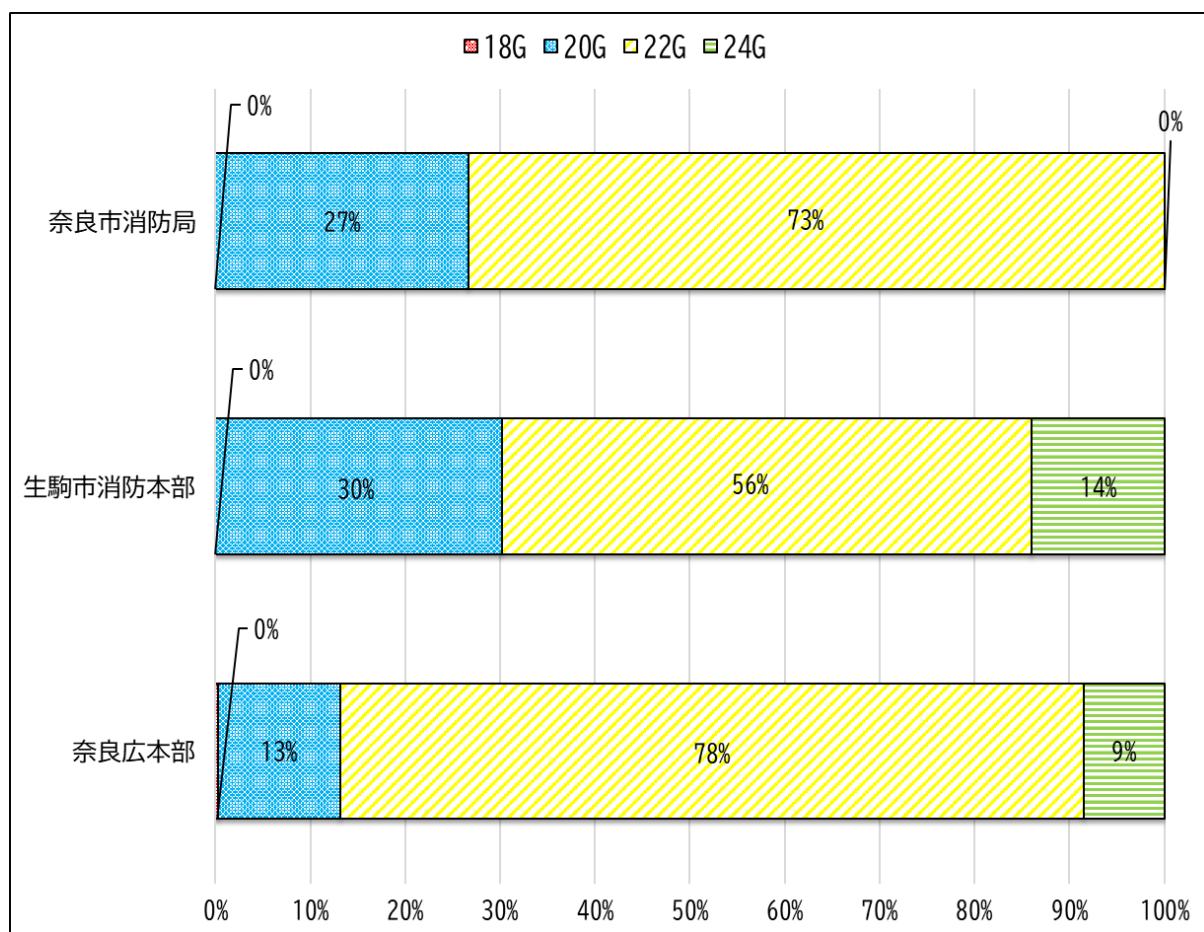
表8 静脈路実施状況【初回静脈路留置針ゲージ別】 (単位：件)

	18G	20G	22G	24G	合計
奈良市消防局	0	60	165	0	225
生駒市消防本部	0	13	24	6	43
奈良広本部	2	89	544	59	694
合計	2	162	733	65	962

※生駒市消防本部は18Gを非携行のため斜線とする。

※静脈路実施について、成功・不成功は問わず、初回に選択した留置針ゲージ別の件数を計上している。

図11 静脈路実施状況【初回静脈路留置針ゲージ別割合】



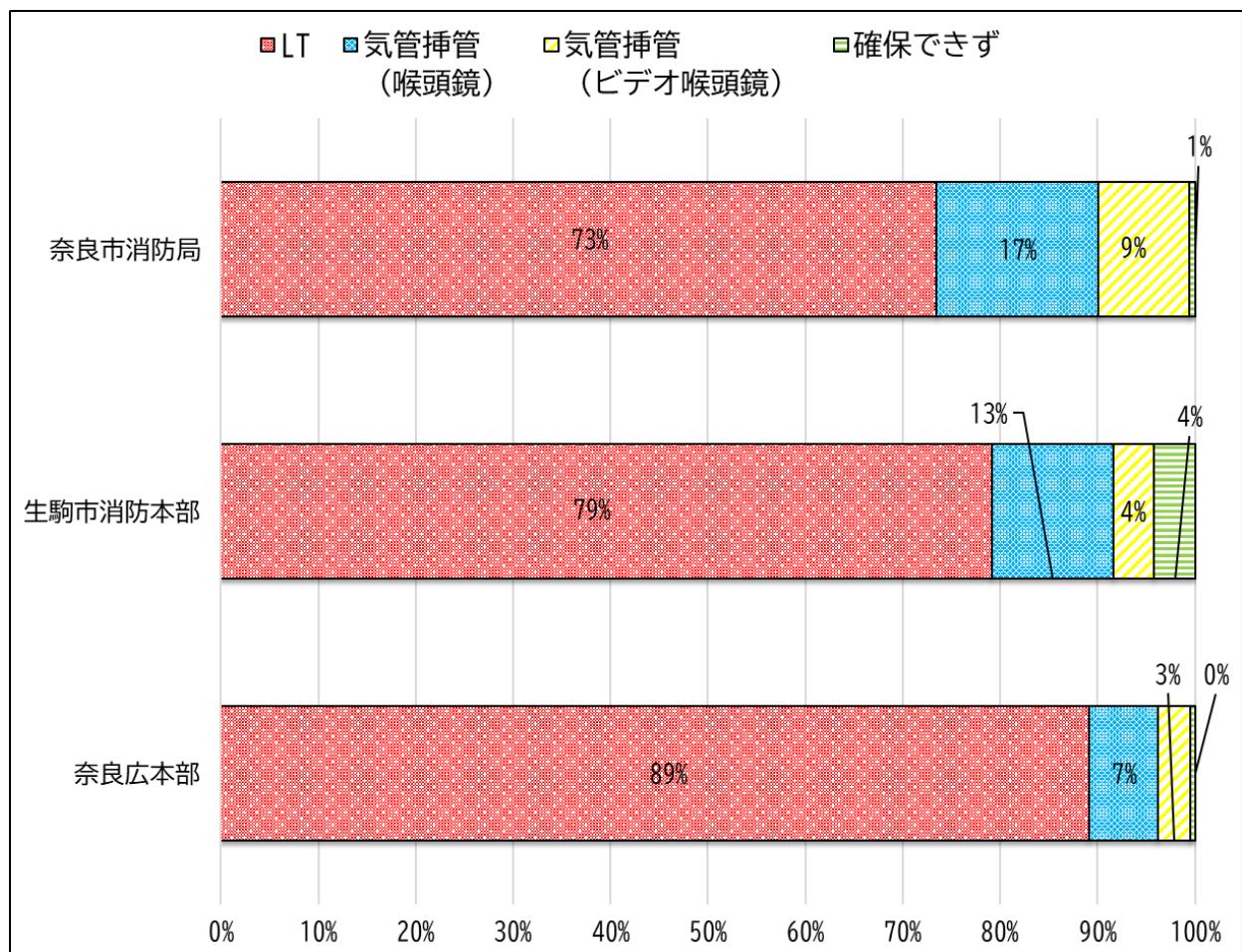
※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上0%になる場合と割合の合計が100%にならない場合がある。

(9) 各消防（局）本部別の気道確保状況【初回特定行為気道確保デバイス別】  
令和5年中の各消防（局）本部別の初回特定行為気道確保におけるデバイス別を比較した（表9、図12参照）。

表9 気道確保状況【初回特定行為気道確保デバイス別】 (単位：件)

	LT	気管挿管 (喉頭鏡)	気管挿管 (ビデオ喉頭鏡)	確保できず	合計
奈良市消防局	133	30	17	1	181
生駒市消防本部	19	3	1	1	24
奈良広本部	568	45	21	3	637
合計	720	78	39	5	842

図12 気道確保状況【初回特定行為気道確保デバイス別割合】

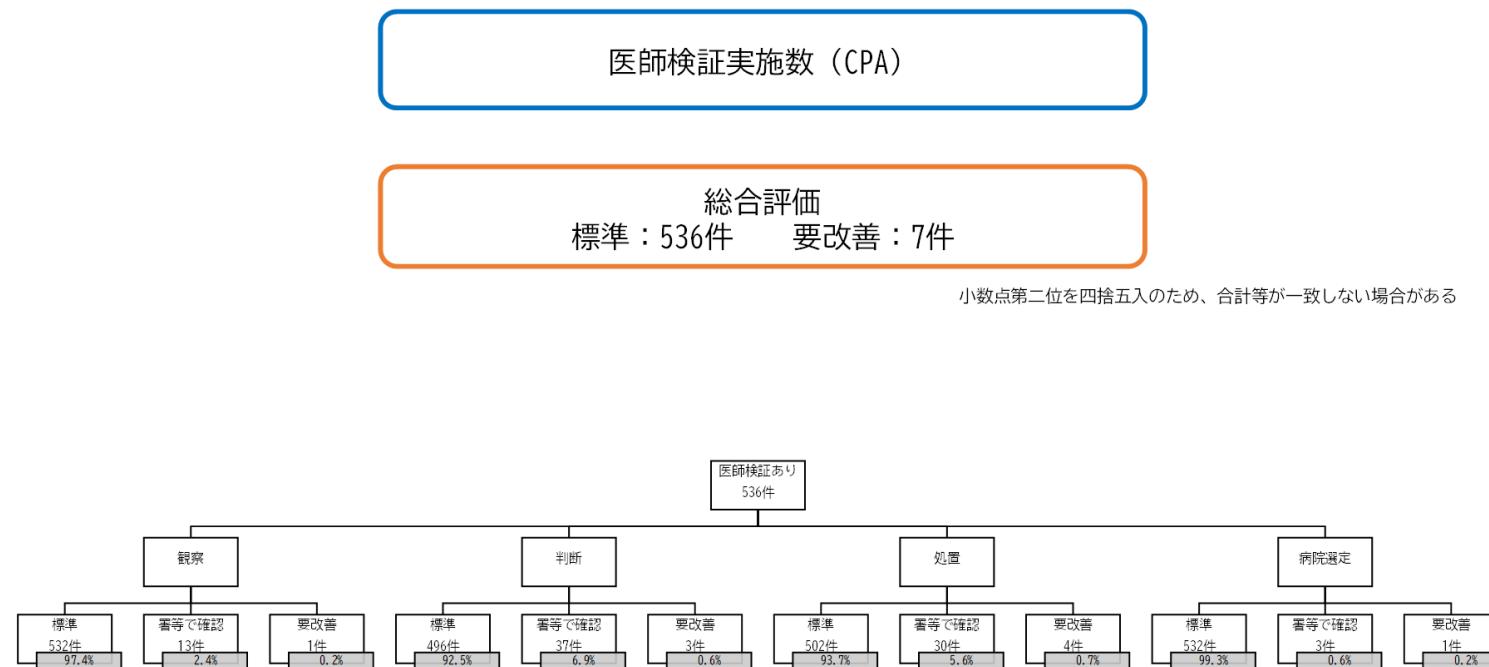


※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0%になる場合と割合の合計が 100%にならない場合がある。

## (10) 県全体のCPA医師検証実施状況

令和5年中の県全体におけるCPA医師検証実施状況を図13に示す。

図13



## 2. 非C P A検証対象概要

令和5年中の各消防（局）本部別の非C P A検証対象数を、ショック・クラッシュ、血糖測定及び低血糖に分けて比較した。

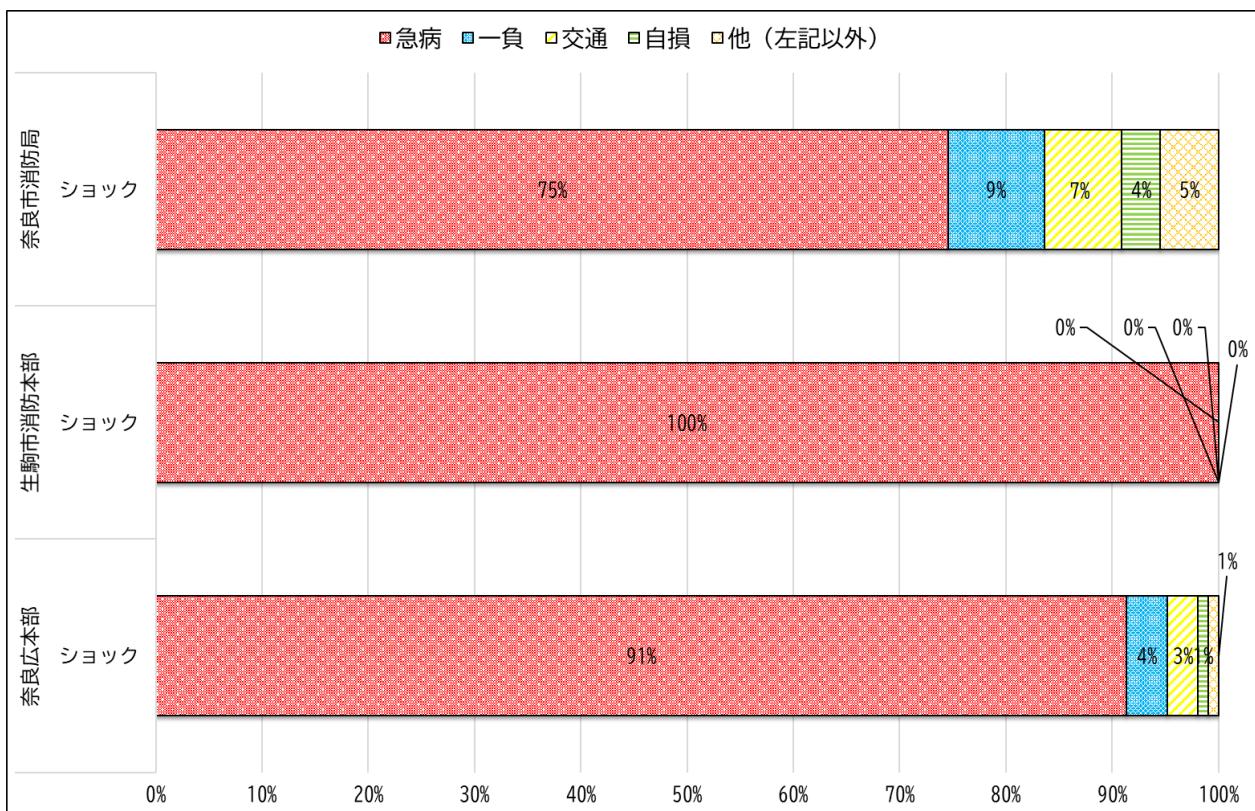
### （1）各消防（局）本部別の事故種別別非C P A検証対象数【ショック・クラッシュ】

令和5年中のショック・クラッシュにおける事故種別の内訳を下記に示す（表10、図14参照）。

表10 事故種別の非C P A検証対象数【ショック・クラッシュ】 (単位：件)

		急病	一負	交通	自損	他 (左記以外)	合計
奈良市消防局	ショック	41	5	4	2	3	55
	クラッシュ	0	0	0	0	0	0
生駒市消防本部	ショック	2	0	0	0	0	2
	クラッシュ	0	0	0	0	0	0
奈良広本部	ショック	95	4	3	1	1	104
	クラッシュ	0	0	1	0	0	1
合計		138	9	7	3	4	161

図14 事故種別の非C P A検証対象割合【ショック・クラッシュ】



※クラッシュは対象数が少ないため除外

※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上0%になる場合と割合の合計が100%にならない場合がある。

## (2) 各消防（局）本部別の発生場所別非C P A検証対象数

【ショック・クラッシュ・低血糖】

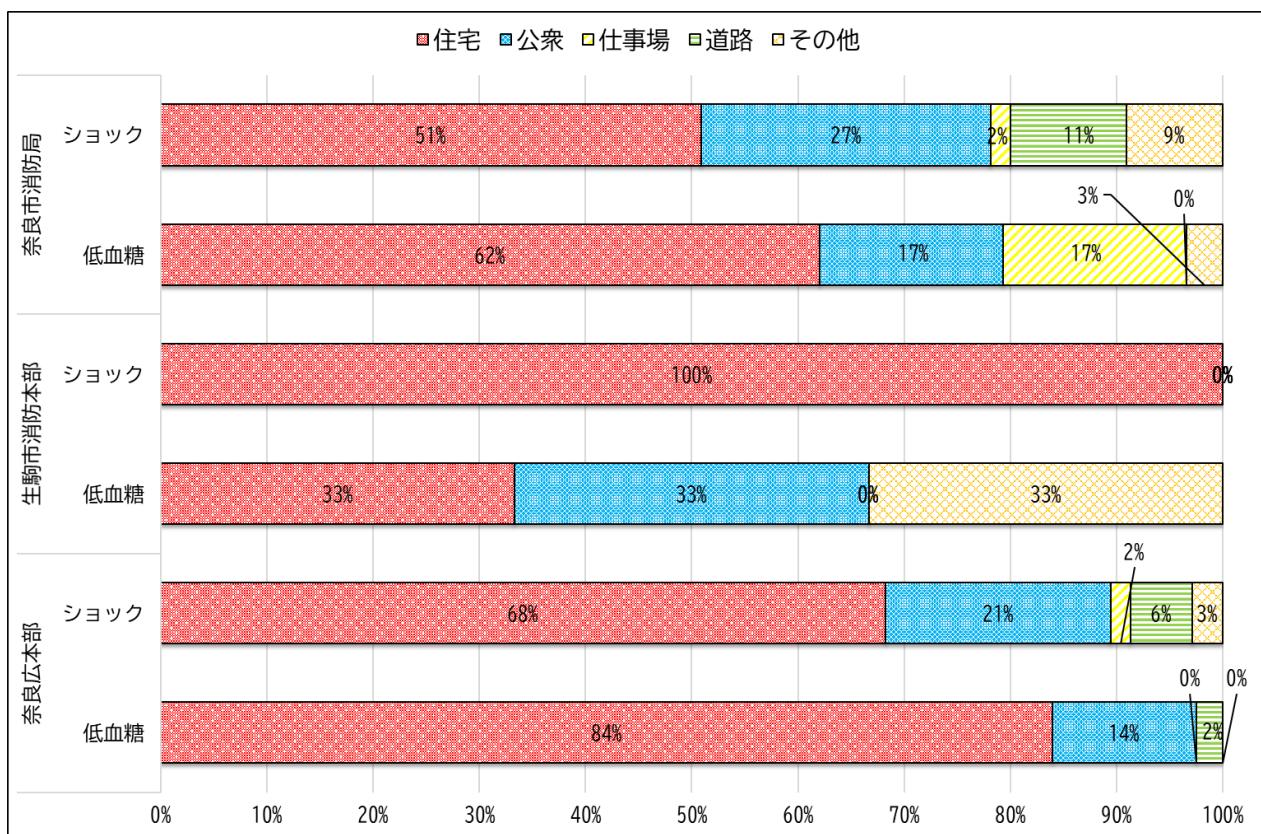
令和5年中のショック・クラッシュ・低血糖における発生場所の内訳を下記示す（表11、図15参照）。

表11 発生場所別の非C P A検証対象数

（単位：件）

		住宅	公衆	仕事場	道路	その他	合計
奈良市消防局	ショック	28	15	1	6	5	55
	クラッシュ	0	0	0	0	0	0
	低血糖	18	5	5	0	1	29
生駒市消防本部	ショック	2	0	0	0	0	2
	クラッシュ	0	0	0	0	0	0
	低血糖	1	1	0	0	1	3
奈良広本部	ショック	71	22	2	6	3	104
	クラッシュ	0	0	0	0	1	1
	低血糖	68	11	0	2	0	81
合計		188	54	8	14	11	275

図15 発生場所別の非C P A検証対象割合



※クラッシュは対象数が少ないため除外

※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0%になる場合と割合の合計が 100%にならない場合がある。

(3) 各消防（局）本部別の性別及び年齢別非C P A検証対象数

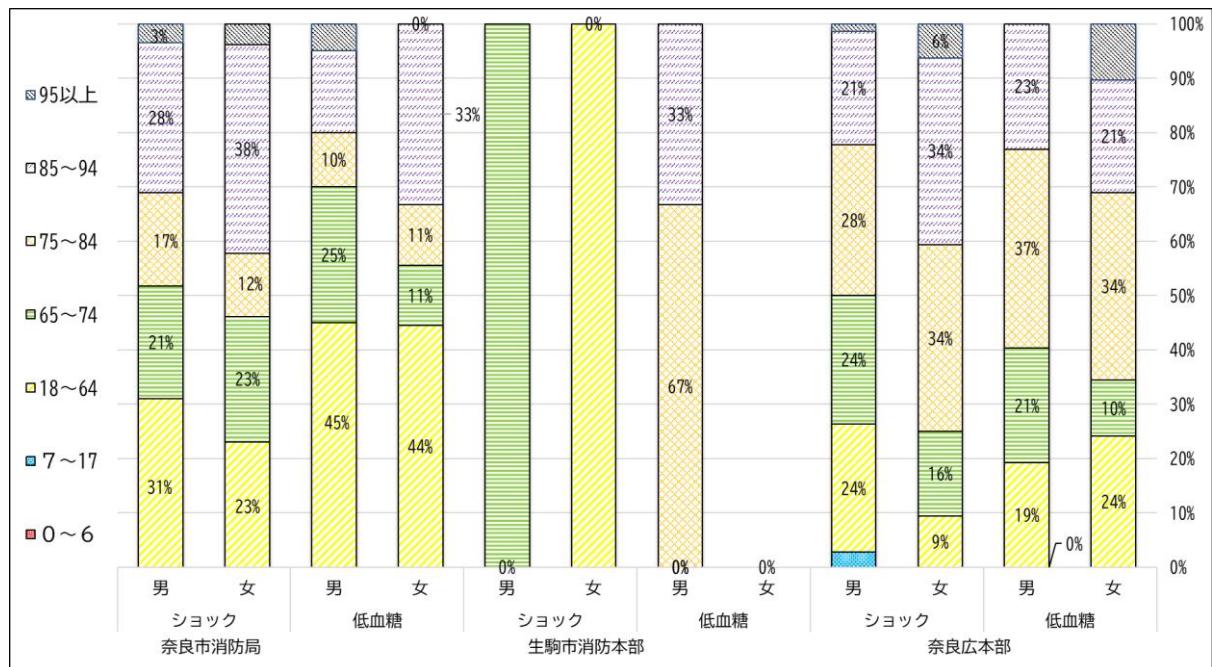
【ショック・クラッシュ・低血糖】

令和5年中のショック・クラッシュ・低血糖における性別及び年齢別の内訳を下記に示す（表12、図16参照）。

表 12 性別及び年齢別の非C P A検証対象数【ショック・クラッシュ・低血糖】  
(単位:件)

		性別	0～6	7～17	18～64	65～74	75～84	85～94	95以上	合計
奈良市消防局	ショック	男	0	0	9	6	5	8	1	29
		女	0	0	6	6	3	10	1	26
	クラッシュ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	低血糖	男	0	0	9	5	2	3	1	20
		女	0	0	4	1	1	3	0	9
生駒市消防本部	ショック	男	0	0	0	1	0	0	0	1
		女	0	0	1	0	0	0	0	1
	クラッシュ	男	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	低血糖	男	0	0	0	0	2	1	0	3
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良広本部	ショック	男	0	2	17	17	20	15	1	72
		女	0	0	3	5	11	11	2	32
	クラッシュ	男	0	0	0	1	0	0	0	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0
	低血糖	男	0	0	10	11	19	12	0	52
		女	0	0	7	3	10	6	3	29
合計			0	2	66	56	73	69	9	275

図 16 性別及び年齢別の非C P A検証対象割合【ショック・クラッシュ・低血糖】



※クラッシュは対象数が少ないため除外

※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0%になる場合と割合の合計が 100%にならない場合がある。

(4) 各消防（局）本部別の非C P A時間経過【ショック・クラッシュ】

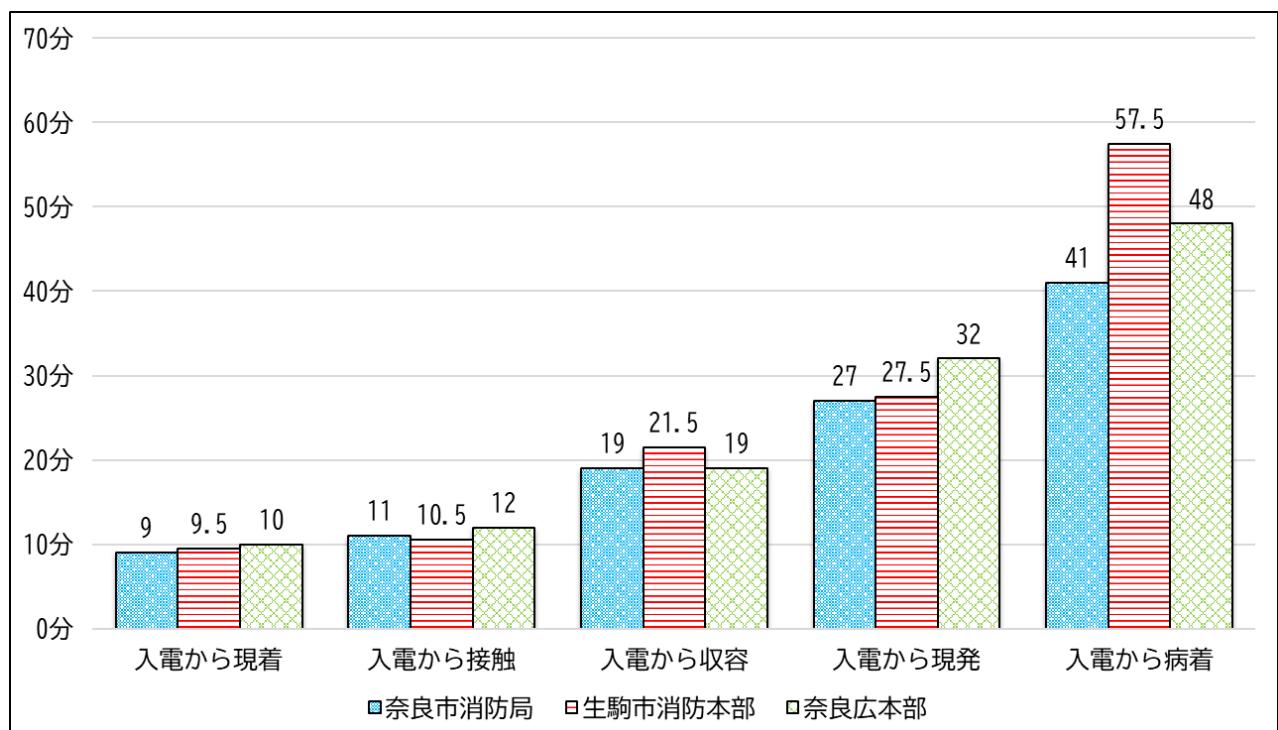
令和5年中のショック・クラッシュの各時間経過について下記に示す（表 13、図 17、表 14、図 18、表 15、図 19 参照）。

表 13 非C P A時間経過【ショック・クラッシュ】（入電から）

（中央値、単位：分）

	入電から現着	入電から接触	入電から収容	入電から現発	入電から病着
奈良市消防局	9	11	19	27	41
生駒市消防本部	9.5	10.5	21.5	27.5	57.5
奈良広本部	10	12	19	32	48

図 17 非C P A時間経過【ショック・クラッシュ】（入電から）



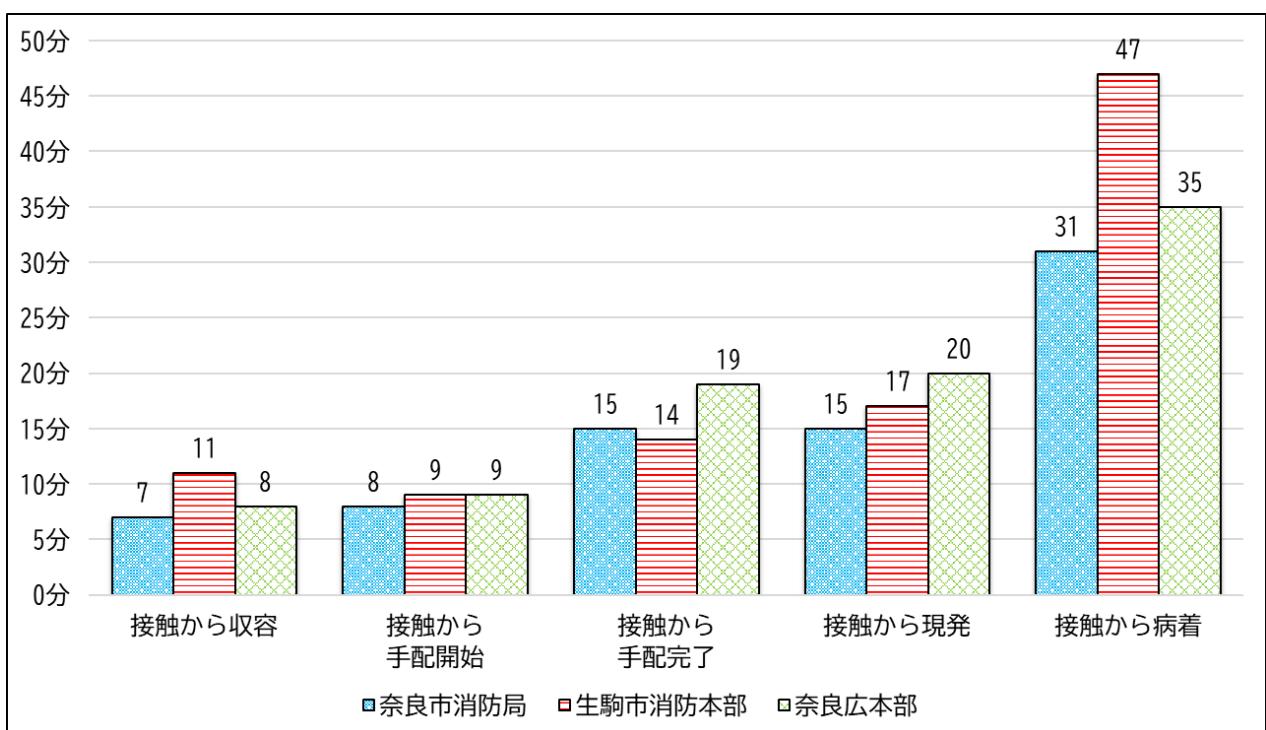
\*クラッシュは対象数が少ないため除外

表14 非CPA時間経過【ショック・クラッシュ】(接触から)

(中央値, 単位:件)

	接触から収容	接触から手配開始	接触から手配完了	接触から現発	接触から病着
奈良市消防局	7	8	15	15	31
生駒市消防本部	11	9	14	17	47
奈良広本部	8	9	19	20	35

図18 非CPA時間経過【ショック・クラッシュ】(接触から)

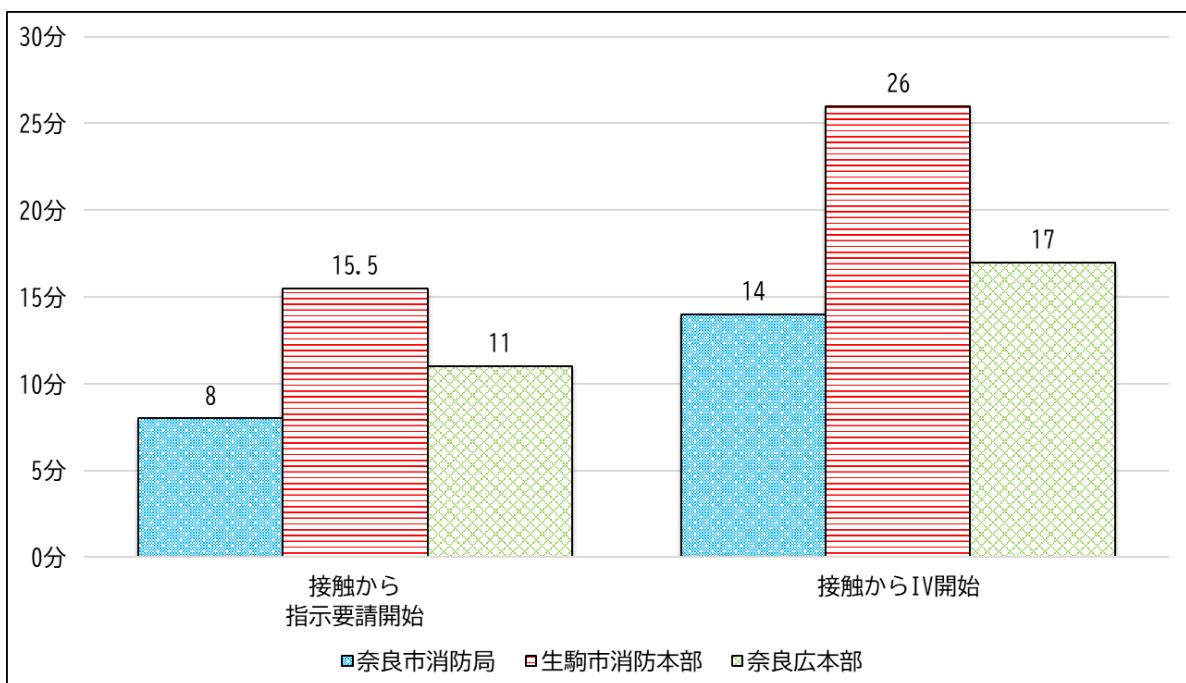


※クラッシュは対象数が少ないため除外

表15 非CPA時間経過【ショック・クラッシュ】(特定行為)  
(中央値, 単位: 分)

	接触から 指示要請開始	接触からIV開始
奈良市消防局	8	14
生駒市消防本部	15.5	26
奈良広本部	11	17

図19 非CPA時間経過【ショック・クラッシュ】(特定行為)



※クラッシュは対象数が少ないため除外

## (5) 各消防（局）本部別のショック・クラッシュ静脈路実施状況

### 【初回静脈路穿刺部位別】

令和5年中のショック・クラッシュにおける穿刺部位別の内訳を下記に示す（表16、図20参照）。

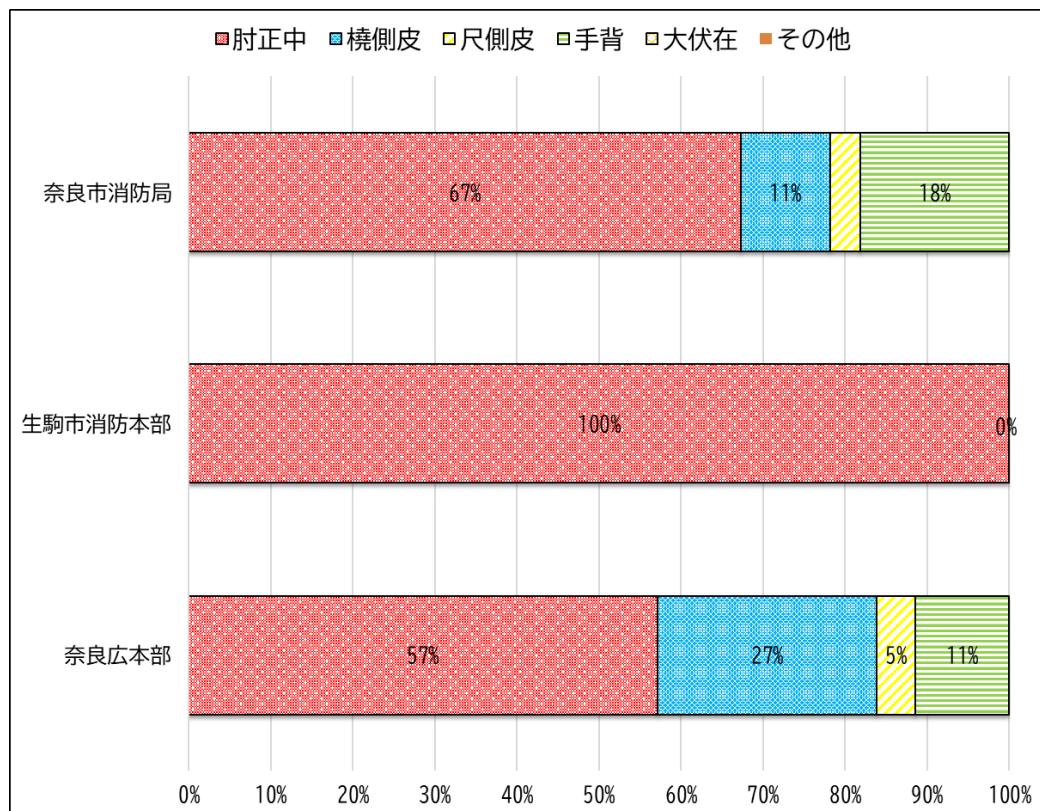
表16 ショック・クラッシュ静脈路実施状況【初回静脈路穿刺部位別】

（単位：件）

	肘正中	橈側皮	尺側皮	手背	大伏在	その他	合計
奈良市消防局	37	6	2	10	0	0	55
生駒市消防本部	2	0	0	0	0	0	2
奈良広本部	60	28	5	12	0	0	105
合計	99	34	7	22	0	0	162

※静脈路実施について、成功・不成功は問わず、初回に穿刺した部位別の件数を計上している。

図20 ショック・クラッシュ静脈路実施状況【初回静脈路穿刺部位別割合】



※クラッシュは対象数が少ないため除外

※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0% になる場合と割合の合計が 100% にならない場合がある。

## (6) 各消防（局）本部別のショック・クラッッシュ静脈路実施状況

### 【初回静脈路留置針ゲージ別】

令和5年中のショック・クラッッシュにおける留置針ゲージ別の内訳を下記に示す（表17、図21参照）。

表17 ショック・クラッッシュ静脈路実施状況【初回静脈路留置針ゲージ別】

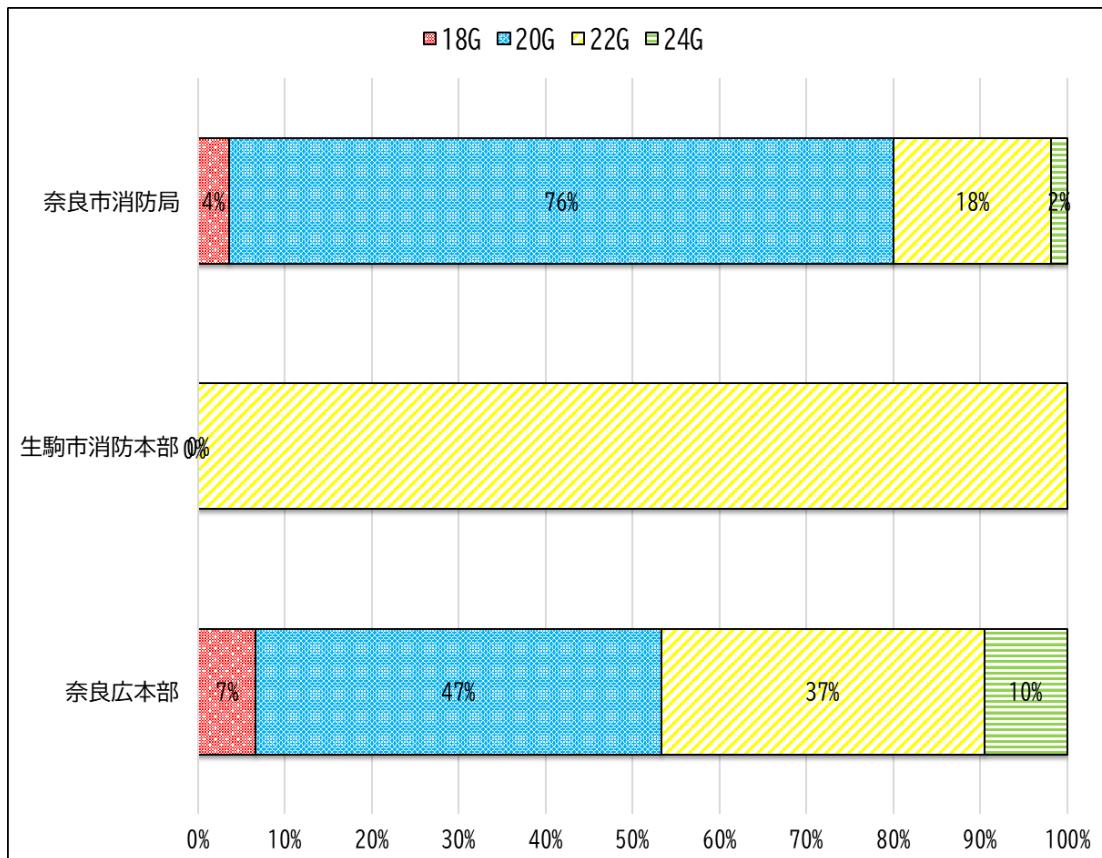
（単位：件）

	18G	20G	22G	24G	合計
奈良市消防局	2	42	10	1	55
生駒市消防本部	0	0	2	0	2
奈良広本部	7	49	39	10	105
合計	9	91	51	11	162

※生駒市消防本部は18Gを非携行のため斜線とする。

※静脈路実施について、成功・不成功は問わず、初回に選択した留置針ゲージ別の件数を計上している。

図21 ショック・クラッッシュ静脈路実施状況【初回静脈路留置針ゲージ別割合】



※クラッッシュは対象数が少ないため除外

※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上0%になる場合と割合の合計が100%にならない場合がある。

(7) 各消防（局）本部別の血糖測定と低血糖割合

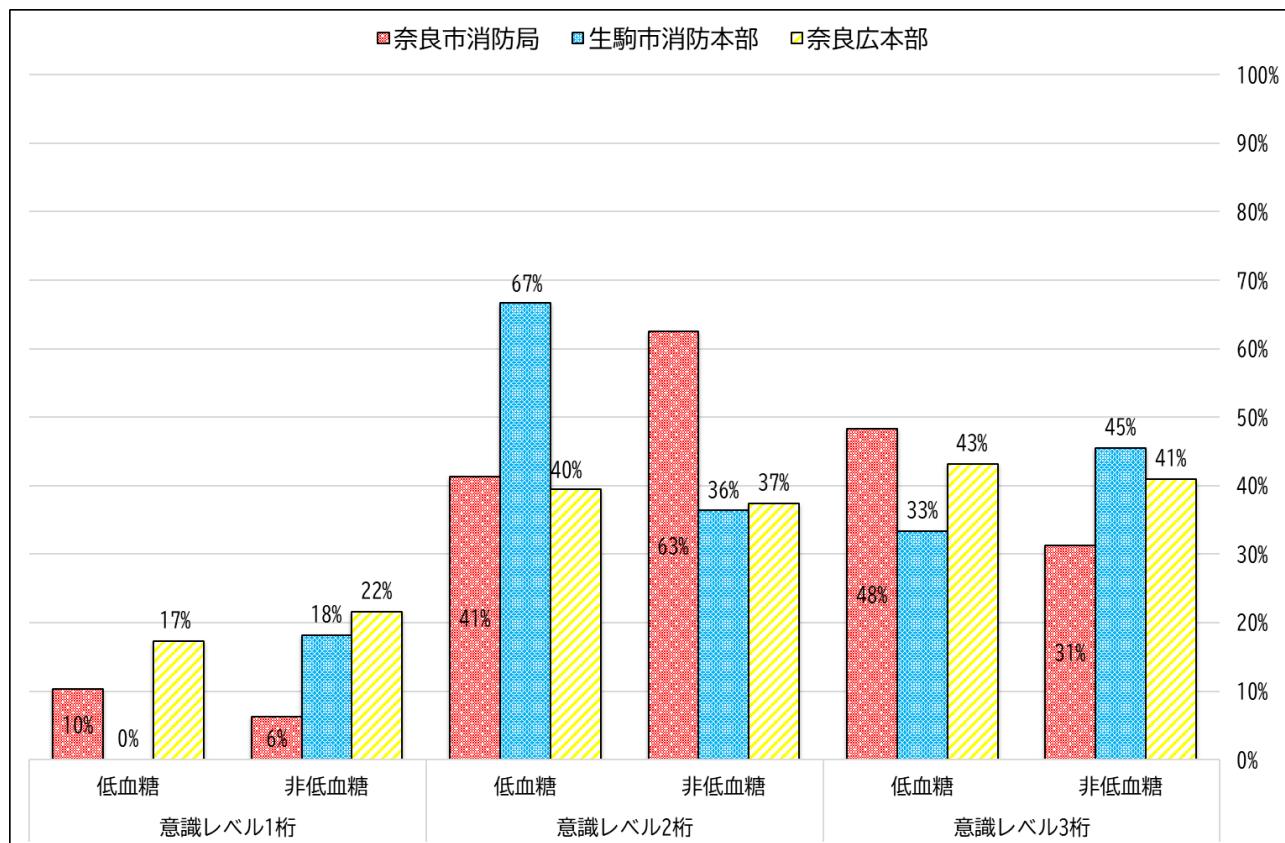
令和5年中の血糖測定と低血糖割合の内訳を下記に示す（表18、図22参照）。

表18 血糖測定と低血糖割合

（単位：件）

	意識レベル1桁		意識レベル2桁		意識レベル3桁		合計	
	低血糖	非低血糖	低血糖	非低血糖	低血糖	非低血糖	低血糖	非低血糖
奈良市消防局	3	1	12	10	14	5	29	16
生駒市消防本部	0	2	2	4	1	5	3	11
奈良広本部	14	30	32	52	35	57	81	139
合計	17	33	46	66	50	67	113	166

図22 血糖測定と低血糖割合



※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0% になる場合と割合の合計が 100% にならない場合がある。

## (8) 各消防（局）本部別の低血糖症例におけるブドウ糖投与実施状況

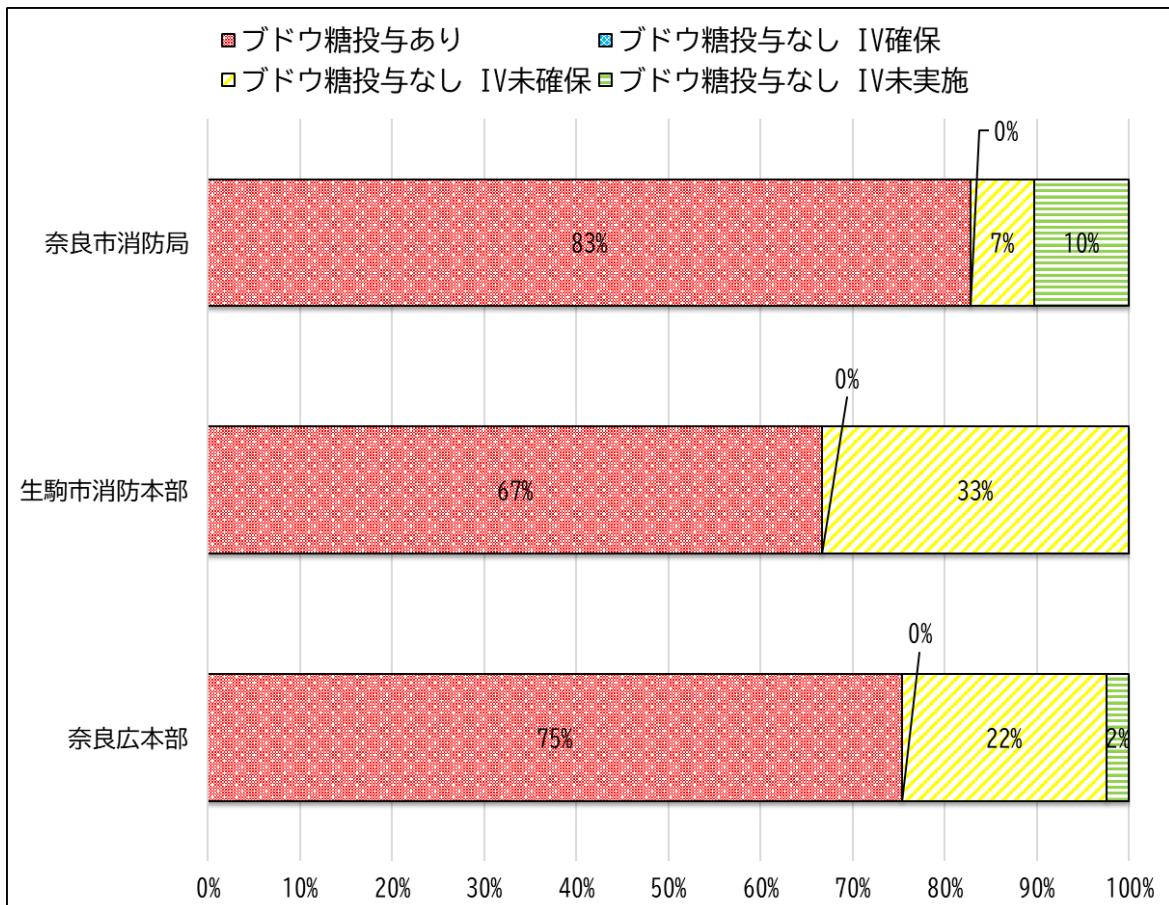
令和5年中の低血糖におけるブドウ糖投与実施状況をみると、大半がブドウ糖投与を実施しているが、ブドウ糖投与ができなかった理由として静脈路の未確保が大半を占めている（表19、図23参照）。

表19 低血糖症例におけるブドウ糖投与実施状況

（単位：件）

	ブドウ糖投与あり	ブドウ糖投与なし			合計
		IV確保	IV未確保	IV未実施	
奈良市消防局	24	0	2	3	29
生駒市消防本部	2	0	1	0	3
奈良広本部	61	0	18	2	81
合計	87	0	21	5	113

図23 低血糖症例におけるブドウ糖投与実施割合



※原則として、単位未満を四捨五入しているため、表記上 0%になる場合と割合の合計が 100%にならない場合がある。

(9) 各消防（局）本部別の非C P A時間経過【血糖測定・ブドウ糖投与】

令和5年中の血糖測定のみの時間経過について下記に示す（表 20、図 24、表 21、図 25、表 22、図 26、表 23、図 28 参照）。

表 20 非C P A時間経過【血糖測定】（入電から）

（中央値、単位：件）

	入電から現着	入電から接触	入電から収容	入電から現発	入電から病着
奈良市消防局	10	11	21	35	47
生駒市消防本部	8	10	14	31	43
奈良広本部	10	11	22	36	49

図 24 非C P A時間経過【血糖測定】（入電から）

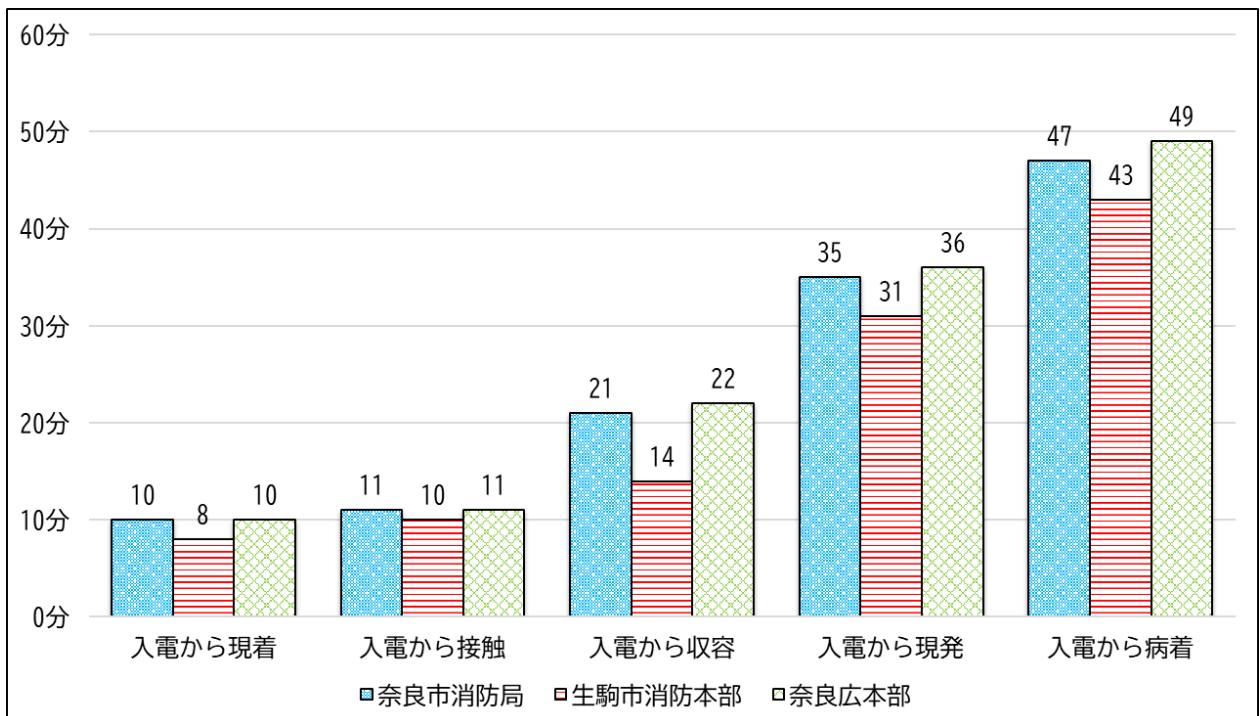


表21 非C P A時間経過【血糖測定】(接触から) (中央値, 単位:件)

	接触から収容	接触から手配開始	接触から手配完了	接触から現発	接触から病着
奈良市消防局	10	12	20	23	35
生駒市消防本部	6	11	19	21	32
奈良広本部	10	12	22	24	38

図25 非C P A時間経過【血糖測定】(接触から)

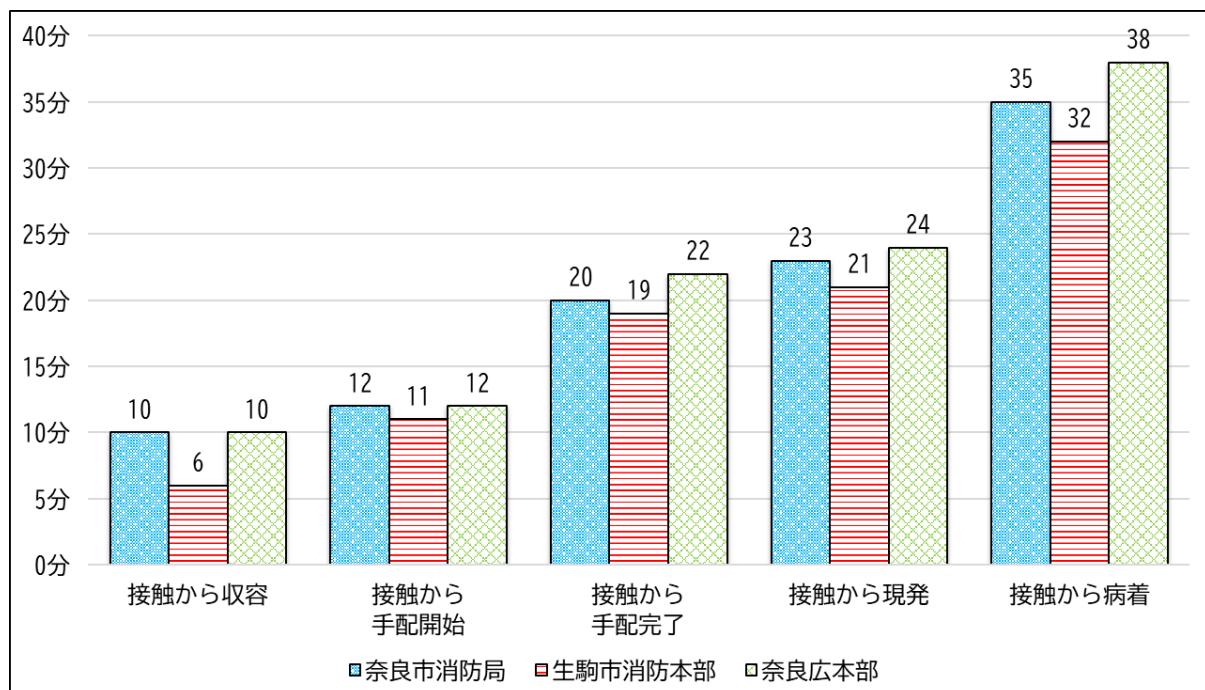


表22 非C P A時間経過【ブドウ糖投与実施事案】(入電から)

(中央値, 単位:件)

	入電から現着	入電から接触	入電から収容	入電から現発	入電から病着
奈良市消防局	10	11	26.5	36.5	50
生駒市消防本部	7	9	20	34.5	42.5
奈良広本部	10	11	28	40	55

図26 非C P A時間経過【ブドウ糖投与実施事案】(入電から)

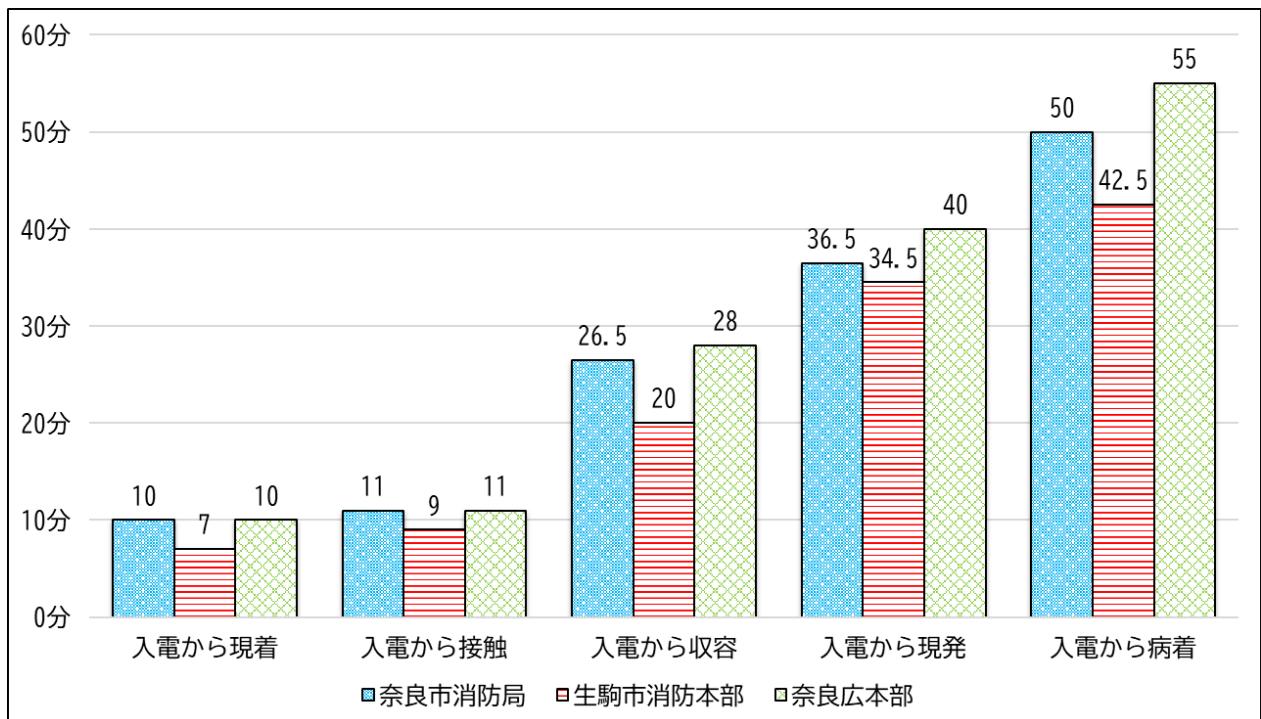


表23 非C P A時間経過【ブドウ糖投与実施事案】(接触から)

(中央値, 単位:件)

	接触から収容	接触から手配開始	接触から手配完了	接触から現発	接触から病着
奈良市消防局	16.5	15	21	25	38
生駒市消防本部	11	19	23.5	25.5	33.5
奈良広本部	18	16	26	28	41

図27 非C P A時間経過【ブドウ糖投与実施事案】(接触から)

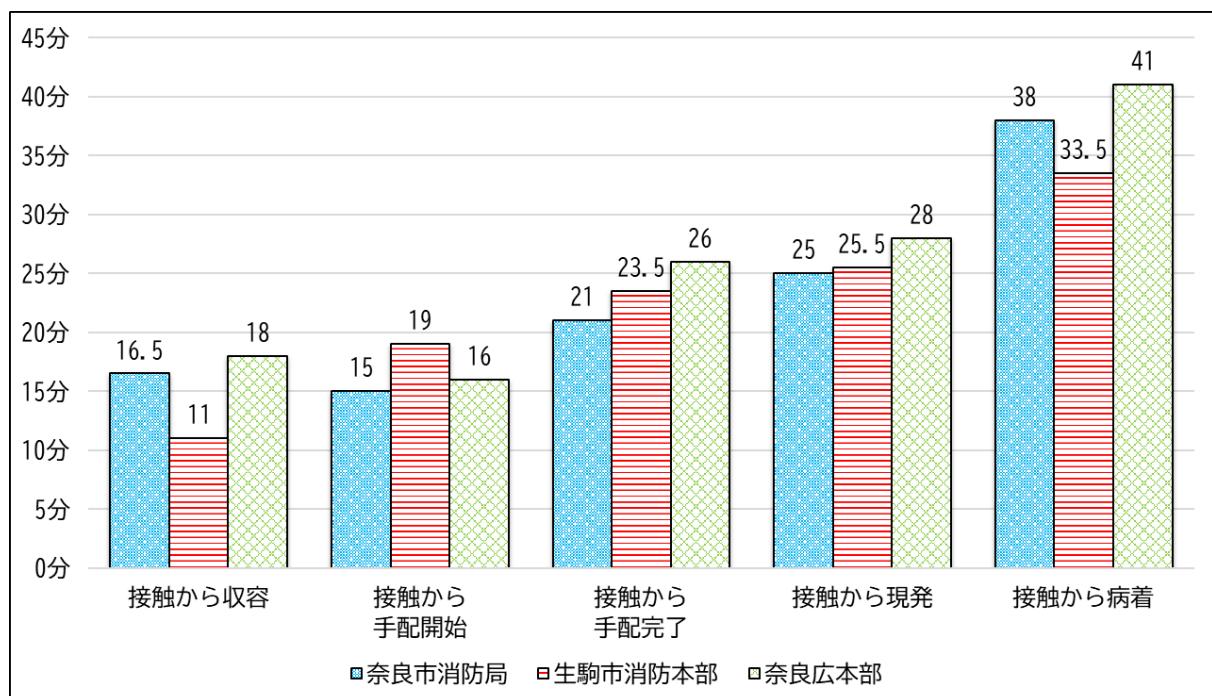
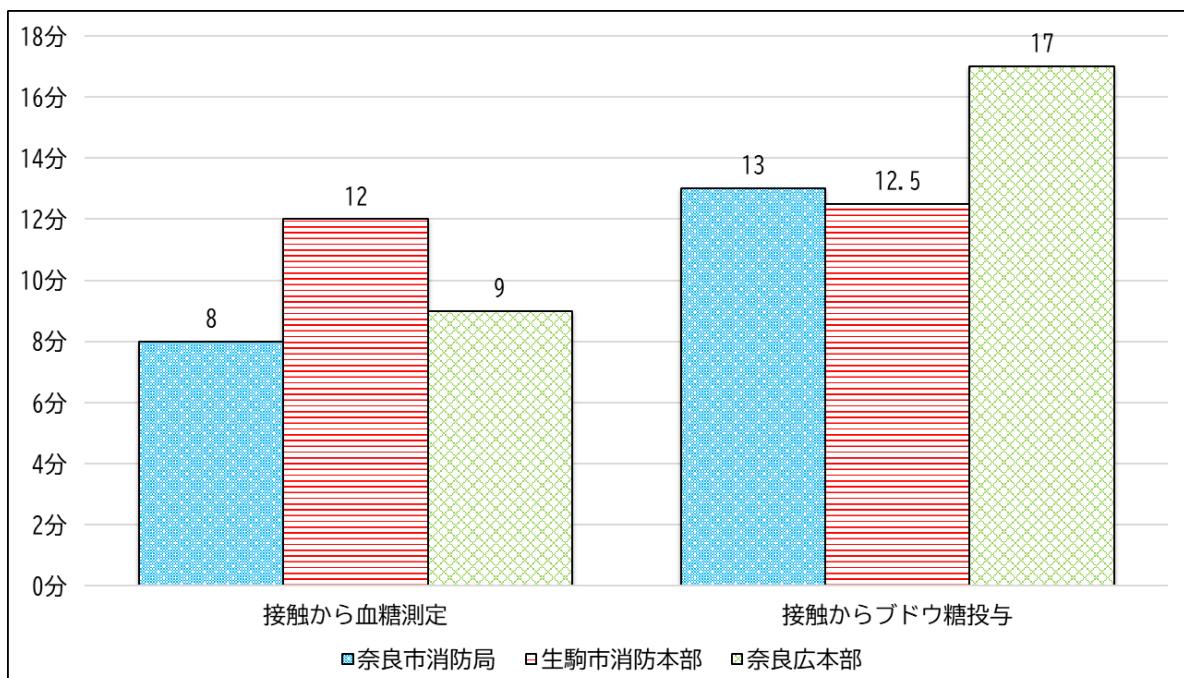


表 24 非C P A時間経過【血糖測定・ブドウ糖投与】(特定行為)  
(中央値, 単位: 件)

	接触から血糖測定	接触からブドウ糖投与
奈良市消防局	8	13
生駒市消防本部	12	12.5
奈良広本部	9	17

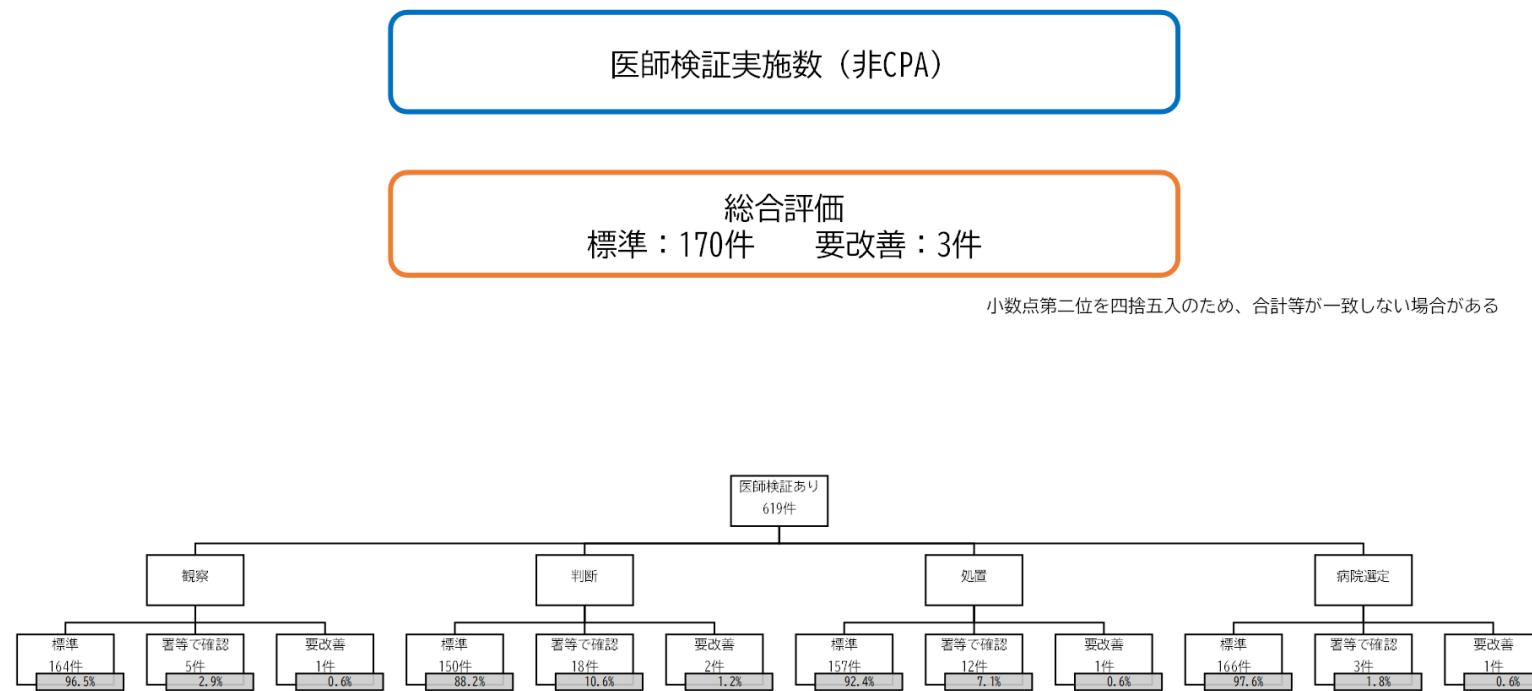
図 28 非C P A時間経過【血糖測定・ブドウ糖投与】(特定行為)



(10) 県全体の非CPA医師検証実施状況

令和5年中の非CPAにおける医師検証実施状況を図29に示す。

図29



## 緊急度判定フローチャート（作成途中）

救急要請確認、出動場所、住所の聴取



### 《1 1 9番導入要領で聴取》

呼び掛け反応（意識）、お腹・胸の動き（呼吸） → 意識、呼吸なし・死戦期呼吸・窒息・溺水 ⇒ R 1

※口頭指導実施



意識、呼吸あり



### 《各症候共通項目で聴取 バイタルサインインタビュー》

- ・呼吸状態：いびき呼吸
- ・意識状態：つじつまが合わない、単語しか話せない  
うめき声のみ、声が出ない、内容が不明  
途切れ途切れの会話
- ・循環状態：冷汗、顔色不良

→ いずれかに異常がある ⇒ R 2

→ 異常はないが不明な項目がある ⇒ R 3



全て異常なし



### 《症候別で聴取 症候別インタビュー》

【緊急性が高い症候：呼吸困難・動悸・意識障害（失神）・痙攣・頭痛・胸痛・背部痛・腰痛】※痙攣を除く

#### ◎呼吸困難

息苦しい・呼吸が苦しい・肩で息をしている・ゼーゼー、ヒューヒューといっている

※各症候共通項目が全て異常なしでも呼吸の異常を示す緊急性の高い症候のため ⇒ R 2

#### ◎動悸

どきどきする・胸がどきどきする・動悸がする

Q これまでに心臓の異常を指摘されたことがあるか？（心疾患）

Q 埋め込み型徐細動器の埋設している傷病者 → 30分以内に徐細動器が発動したか？  
(埋め込み型除細動器発動)

Q 40才以上の傷病者 → 胸痛ありますか？（急性冠症候群）

・いずれかに該当 ⇒ R 2 • 不明がある ⇒ R 3 • 全て該当なし ⇒ Y 2

## ◎意識障害

反応がない・意識がないようだ・変なことを言う・うわごとを言っている・いつもと様子が違う・気を失った・気を失いかけた

※バイタルサインインタビューで異常なしでも呼吸停止が否定できない場合

Q 呼吸をする度に合図してもらい

- 呼吸間隔の合図が 10 秒以上・死戦期呼吸（心停止） ⇒ R 1 • 実施できない ⇒ R 3

↓ (呼吸間隔の合図が 10 秒以内)

Q これまでに心臓の異常を指摘されたことがありますか？（心疾患・不整脈）

Q お腹を痛がっていますか？（子宫外妊娠・腹部大動脈切迫破裂）

- いずれかに該当 ⇒ R 2 • 不明がある ⇒ R 3 • 全て該当なし ⇒ Y 2

## ◎頭痛

頭が痛い・後頭部が痛い・頭痛がするといつて倒れた

Q 激しい痛みが突然起きましたか？（くも膜下出血）

Q しびれや、麻痺がありますか？

- いずれかに該当 ⇒ R 2 • 不明がある ⇒ R 3 • 全て該当なし ⇒ Y 2

## ◎胸痛（非外傷性）

胸が痛い・胸が苦しい

Q 吐いたり、吐き気がありますか？

Q これまで、心筋梗塞や狭心症と言われたことがありますか？（急性冠症候群）

Q これまで同様の痛みがなんどかありましたか？

Q 40 歳以上ですか？（心疾患）

- いずれかに該当 ⇒ R 2 • 不明がある ⇒ R 3 • 全て該当なし ⇒ Y 2

## ◎背部痛・腰部痛

背中が痛い・背骨が痛い・腰が痛い・腰痛がひどい

Q 背中（体）をぶつけたり、高い所からおちましたか？ ⇒ 外傷へ

Q 息苦しいですか、呼吸は苦しそうですか？（肺疾患） ⇒ 呼吸困難へ

Q 40 歳以上で胸は痛くないですか？（心疾患） ⇒ 胸痛へ

↓ (上記 3 項目該当なし)

Q これまでに大動脈瘤は指摘されたことがありますか？（急性大動脈解離）

Q 65 歳以上で気を失いそうになりましたか？

Q 65 歳以上で、裂けるような痛み又は移動する痛み？（急性大動脈解離）

- いずれかに該当 ⇒ R 2 • 不明がある ⇒ R 3 • 全て該当なし ⇒ Y 2 • その他の痛み ⇒ G

【緊急性が高くない症候：・成人発熱（16歳以上）・腹痛・成人嘔気嘔吐（16歳以上）・めまい・下血便・しづれ・具合、調子が悪い・外傷・固形物誤飲・中毒・小児発熱（16歳以下）・小児嘔気嘔吐（16歳以下）・小児頭、頸部外傷（16歳以下）】

### ◎成人発熱（16歳以上）

○○度の熱が出た・熱が高い

- Q 起き上がることができませんか？
- Q 強い頭痛と嘔吐がともにありますか？（髄膜炎）
- Q 暑い所にしばらくいましたか、または激しい運動をした後ですか？（熱中症）
- Q 頭痛があり意識がもうろうとしていますか、または意識状態が悪いですか？

・いずれかに該当⇒Y 1 ・不明がある⇒R 3 ・全て該当なし⇒G

### ◎腹痛

お腹が痛い・みぞおちが痛い・下腹が痛い・わき腹が痛い・お腹が張る・足の付け根が痛い

- Q これまでに大動脈瘤などを指摘されたことがありますか？（腹部大動脈瘤切迫破裂）
- Q 女性12歳以上、男性65歳以上で気を失いそうになりましたか？（腹部大動脈瘤切迫破裂）
- Q 膽（へそ）より上の痛みですか？（心疾患）
- Q 65歳以上で、裂けるような痛み又は移動する痛み？（腹部大動脈瘤切迫破裂）

・いずれかに該当⇒Y 1 ・不明がある⇒R 3 ・全て該当なし⇒Y 2 ・その他の痛み⇒G

### ◎成人嘔気嘔吐（16歳以上）

吐いた・吐き気が強い

- Q 吐いたものに血が混じっていますか？（上部消化管出血）
- Q 強い吐き気、または嘔吐が2日以上続いていますか？
- Q 強いお腹の痛みがありますか？
- Q お腹がパンパンに張っていますか？（腸閉塞）
- Q 胸、または背中の痛みはありますか？（大動脈疾患・心疾患）
- Q 最近、頭・胸・腹にケガをしたり、大きな力を受けたりしましたか？（頭蓋内圧亢進）
- Q 強い頭痛を伴っていますか？

・いずれかに該当⇒Y 1 ・不明がある⇒R 3 ・全て該当なし⇒G

### ◎めまい

めまいがする・目がまわる

- Q 動けませんか、または歩行、移動ができませんか？
- Q 手足の力が抜けた感じ、動きにくさがありますか？（脳卒中）
- Q 下痢または嘔吐をしていますか？（脱水）
- Q 吐き気がありますか？
- Q しゃべりにくい、またはしゃべりにくそうですか？（脳卒中）
- Q 高血圧の治療中、または高血圧といわれたことがありますか？（高血圧）
- Q 目が見えにくいですか？（脳卒中）
- Q 脈が極端に速かったり、遅かったり、乱れたり、ドキドキしたりしますか？（不整脈）

Q 胸の痛みはありますか？（急性冠症候群）

Q めまいの症状はひどいですか？

Q 頭痛がありますか？

- ・いずれかに該当⇒R 2   ・該当はないが不明がある⇒R 3   ・全て該当なし⇒G

## ◎下血・血便

下血した・便に血が混じっている

Q どれくらいの出血量ですか？→ a. 下着に付着する程度 b. a 以上に出血している（大量出血）

Q 腹痛はありますか？（腹痛関連疾患）

- ・いずれかに該当⇒Y 1   ・不明がある⇒R 3   ・腹痛はなく下着に血液が付着する程度⇒Y 2

3

## ◎しびれ

手足がしびれている・脳卒中のようなだ・突然、話ができなくなった・突然、片方の手（足）がうごかなくなったり・手（足）に力が入らなくなったり・突然、バランスがとれなくなったり・突然、目が見えなくなったり

Q 次のような症状がありますか？（脳卒中の症状をまだ聞いてない場合）

急な…構音障害（声が出ない）・脱力またはしびれ（片側のみ）・麻痺または顔面の左右差（片側のみ）・バランス感覚の欠如（ふらつきなど）・視覚障害・突然の頭痛

Q 今までに脳卒中になったことがありますか？

- ・いずれかに該当⇒Y 1   ・不明がある⇒R 3   ・全て該当なし、その他症状⇒G

## ◎具合が悪い・調子が悪い

Q どこか痛いところがありますか？

↓ 「はい」の場合

Q それはどこですか？ → a. 頭 b. 胸 c. 背部 d. 腹部 e. 腰部

a ⇒頭痛    b ⇒胸痛    c ⇒背部痛    d ⇒腹痛    e ⇒腰部痛    ※各症候別項目で聴取

↓ （上記項目に該当なし）

Q 急に手足の力が抜けた感じ、また手足の動きにくさがありますか？（脳卒中）

Q しゃべりにくい、またはしゃべりにくそうですか？（脳卒中）

Q 下痢または嘔吐をしていますか？

- ・いずれかに該当⇒Y 1   ・不明がある⇒R 3   ・全て該当なし⇒Y 2

## ◎外傷

車にはねられた・高いところから落ちた・けがをした

Q どんな外傷ですか？

- ・3m以上の高さからの転落、墜落、滑落
- ・自動車事故→横転、車外放出、車内閉じ込め、同乗者死亡、高速道路上事故、転落
- ・高速での自動二輪車事故
- ・歩行者、自転車及び自動二輪車
- ・鉄道車両との接触事故
- ・頭部、頸部や体幹部の鋭的外傷（刺された、撃たれた）
- ・四肢の切断及び不全切断（手関節・足関節より近位のもの）
- ・救出に概ね20分以上時間を要する事故
- ・機械に巻き込まれた、挟まれた、重量物の下敷きになった、ぶつかった

⇒ R 2

- ・列車・バス・航空機、爆発等、多数の傷病者が予想される事故
- ・上記以外で医師の現場派遣が望ましい事故

・指趾切断 ⇒ R 3

・指趾切創、手足の→小範囲の熱傷、捻挫で痛みが我慢可能、打撲擦過傷で歩行可能 ⇒ G

・上記以外 ⇒ Y 2

4

### ◎ 固形物誤飲

何か固形物を飲み込んだ・食べ物が喉に詰まった・喉にひっかかっている、取れない

Q 再度確認、話すことはできますか？（窒息）

・いいえ ⇒ R 2      ・はい ⇒ G

### ◎ 中毒

薬を飲んだ・ガスを吸った・間違って何かを飲んだ

Q 再度確認、話すことはできますか？

・いいえ ⇒ R 2      ・はい ⇒ G

### ◎ 小児発熱（16歳未満）

発熱がある・高熱である

Q 意識朦朧又は1日ウトウトしていますか？おかしなことを口走っていますか？（脳炎、髄膜炎）

Q 興奮状態、あばれたりしていますか？（脳炎、髄膜炎）

Q ひどい頭痛がありますか？（脳炎、髄膜炎）

・いずれかに該当 ⇒ Y 1    ・不明がある ⇒ R 3    ・全て該当なし ⇒ G

### ◎ 小児嘔気・嘔吐（16歳未満）

吐いた・吐き気が強い

Q 嘔吐を何度も繰り返していますか？（髄膜炎、腸閉塞）

Q 嘔吐物に血液又は緑がかかった液体（胆汁）が混じっていますか？（消化性潰瘍）

Q 38度以上の発熱がありますか？（髄膜炎）

Q 尿が半日以上出でていませんか？（脱水）

Q 無表情、元氣がない、ぐったり、ウトウトしていませんか？（髄膜炎）

Q 乳児の場合：ミルク摂取後に3, 4回以上噴出する嘔吐がありましたか？（幽門狭窄）

Q 強い腹痛がありますか？（腸重責、腸炎）

Q 頭を激しく痛がっていますか？（髄膜炎）

Q 便に血液又はイチゴゼリー状のものが混じっていますか？（腸重責）

Q お腹がパンパンに張っていますか？（腸閉塞）

Q 泣いても涙がほとんど出ないですか？（脱水）

Q お腹を強く打ちましたか？（外傷）

・いずれかに該当 ⇒ Y 1    ・不明がある ⇒ R 3    ・全て該当なし ⇒ G

## ◎小児頭部・頸部外傷（16歳未満）

頭をぶつけた、落ちた、頭から出血

Q 嘔吐が数回ありますか？

Q 手足が動きにくいまはしひれがありますか？

Q 受傷後または受傷時に意識消失がありましたか？

Q 意識はしっかりしており、頭痛がありますか？

Q 押さえても鼻血が止まらないですか？

Q 直接ぶつけてないのに耳出血がありますか？

Q 頭からの出血が多いですか？押さえても止まらないですか？

Q 首をかしげる姿勢をとっていますか？まっすぐ体に向かせても横向きになってしまいますか？

Q サラサラした液体が鼻または耳からボタボタと出ていますか？

Q めまいがありますか？

Q 目が見にくい、二重に見えたりしますか？

・いずれかに該当 ⇒ Y 1 • 不明がある ⇒ R 3 • 全て該当なし ⇒ G